

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの  
更新プロジェクト

排出削減事業者名：エンジニアウッド宮崎  
事業協同組合

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	エンジニアウッド宮崎事業協同組合
排出削減事業を実施する事業所 (複数の事業所で実施する場合、行を挿入し全事業所を記載すること)	
事業所名	エンジニアウッド宮崎事業協同組合
住所	〒885-0006 宮崎県都城市吉尾町 758-1
排出削減事業共同実施者 (J-クレジット保有予定者) (複数の排出削減事業共同実施者がいる場合、行を挿入し全ての共同実施者を記載すること)	
排出削減事業共同実施者名	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者 (複数の関連事業者がいる場合、行を挿入し全ての関連事業者を記載すること)	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト

### 2.2 排出削減事業の目的

A 重油ボイラ 4 基を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新する。木質バイオマスを使用することによって、CO2 排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、現在使用している A 重油ボイラを木質バイオマスボイラに更新することで、CO2 排出量を大幅に削減する。なお、既存の木質バイオマスボイラ及び A 重油ボイラは、引き続き更新するバイオマスボイラのバックアップ用ボイラとして稼働させる。

### 2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2010年6月25日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2015年12月31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量・原単位は採用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

バイオマスボイラー及びボイラーから蒸気の供給を受ける設備

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
W <sub>PJ-ex</sub>	既存バイオマスボイラ給水量	t	16,215.990	給水メーターによる計測データ	変更なし
B <sub>PJ-ex</sub>	既存バイオマスボイラのブロー率	%	7.3	水質分析報告書に基づく管理値	変更なし
H <sub>steam,PJ-ex</sub>	既存バイオマスボイラの蒸気の比 エンタルピー	GJ/t	2.768 (0.8MPa)	蒸気圧メーターの計測データを用 いて計算	変更なし
H <sub>water,PJ-ex</sub>	既存バイオマスボイラの給水の比 エンタルピー	GJ/t	0.272 (65度)	温度計の計測データを用いて計算	変更なし
W <sub>PJ-new</sub>	新設バイオマスボイラ給水量	t	42,863.538	給水メーターによる計測データ	変更なし
B <sub>PJ-new</sub>	新設バイオマスボイラのブロー率	%	3.3	水質分析報告書に基づく管理値	変更なし
H <sub>steam,PJ-new</sub>	新設バイオマスボイラの蒸気の比 エンタルピー	GJ/t	2.768 (0.8MPa)	蒸気圧メーターの計測データを用 いて計算	変更なし
H <sub>water,PJ-new</sub>	新設バイオマスボイラの給水の比 エンタルピー	GJ/t	0.272 (65度)	温度計の計測データを用いて計算	変更なし
ε <sub>BL</sub>	事業実施前 A 重油ボイラ効率	%	85.5 (高位 発熱量)	カタログ値	変更なし
CF <sub>fuel,BL</sub>	A重油の単位発熱量あたりの CO2 排出係数	tCO2/GJ	0.0708	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし

## 排出削減量の計算

### 5.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
EM <sub>PJ</sub>			0.0 (t-CO <sub>2</sub> )

### 5.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
8,440.779(t/年) 10.0 (%) (=51,099GJ/33 カ月) ※実績報告期間 33 カ月に換算	2.759(GJ/t) 0.313 (GJ/t)		
16,215.990(t) 7.3 (%) (=37,503GJ)	2.768(GJ/t) 0.272 (GJ/t)		
43,863.538 (t) 3.3 (%) (=103,505GJ) 85.5 (%)	2.768(GJ/t) 0.272 (GJ/t)	0.0708 (tCO <sub>2</sub> /GJ)	
EM <sub>BL</sub>			7,445.1 (t-CO <sub>2</sub> )

新設バイオマスボイラの代替生成熱量

$$= 103,505 + 37,503 - 51,099 = 89,909 \text{ (GJ)}$$

### 5.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0
LE			0

### 5.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	7,445.1
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	0.0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	7,445

## 6 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

## 7 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2015年12月31日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス熱利用量	GJ	116,765 GJ	116,765 GJ	3,012.5 kL